

微分積分学・同演習 A

演習問題 13

$$1.^\dagger \quad (1) I_{n+1} = \frac{2n-1}{2n} I_n + \frac{1}{2n} \cdot \frac{x}{(1+x^2)^n} \quad (2) I_2 = \frac{1}{2} \left(\frac{x}{1+x^2} + \operatorname{Arctan} x \right)$$

$$I_3 = \frac{1}{8} \left(\frac{2x}{(1+x^2)^2} + \frac{3x}{1+x^2} + 3 \operatorname{Arctan} x \right)$$

$$I_4 = \frac{1}{48} \left(\frac{8x}{(1+x^2)^3} + \frac{10x}{(1+x^2)^2} + \frac{15x}{1+x^2} + 15 \operatorname{Arctan} x \right)$$

(考え方) $\frac{1}{(1+x^2)^n} = \frac{(x)'}{(1+x^2)^n}$ と思って部分積分を行えばよい.

- 2.* まず, ヒントどおりに $x^p(ax+b)^q = ax^{p+1}(ax+b)^{q-1} + bx^p(ax+b)^{q-1}$ として部分積分を行う. すると

$$I_{p,q} = \frac{x^{p+1}(ax+b)^q}{q} - \frac{p+1}{q} I_{p,q} + b I_{p,q-1}$$

を得るので, 第一の漸化式が得られる. 第2の漸化式は, $I_{p-1,q}$ を $(\frac{x^p}{p})'(ax+b)^q$ と思って部分積分すればよい. すると,

$$I_{p-1,q} = -\frac{aq}{p} I_{p,q-1} + \frac{x^p(ax+b)^q}{p}$$

となるので, 第一の漸化式を用いて $I_{p,q-1}$ を $I_{p,q}$ を使って書き換える.

3. (1) $y = 1-x$ と変数変換すればよい. (2) 大問2を使うとよい. (1) より $B(s, t+1) = \frac{t}{s+t} B(s, t)$ を示す.

$$B(s, t+1) = \int_0^1 x^{s-1}(1-x)^{t-1}(1-x) dx = \int_0^1 x^{s-1}(1-x)^{t-1} dx - \int_0^1 x^s(1-x)^{t-1} dx.$$

ここで, 2 番目の積分を $x^s(\frac{-1}{t}(1-x)^t)'$ と思って部分積分すれば $B(s, t+1) = B(s, t) - \frac{s}{t} B(s, t)$ を得るので, これを整理する.

- (3) 係数 $\frac{1}{2}$ が抜けていました. 変数変換 $x = \sin^2 \theta$ をすればすぐ得られる.

4. $\frac{1}{2}\Gamma(\frac{\alpha+1}{2})$. (求め方) $y = x^2$ と変数変換すれば $dy = 2x dx$ であり, 変数 y の動く範囲は $0 \rightarrow +\infty$ である. あとは単純な式変形である.

$$\int_0^{+\infty} e^{-x^2} x^\alpha dx = \frac{1}{2} \int_0^{+\infty} e^{-x^2} x^{\alpha-1} \cdot 2x dx = \frac{1}{2} \int_0^{+\infty} e^{-y} (y^{1/2})^{\alpha-1} dy.$$

- 5.* 解析概論 §35 を参照のこと. 第3版では pp.116,117 にある.